

## **A.経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性について**

### **a.デジタル技術が社会や自社の競争環境に及ぼす影響について**

ウイズコロナ・アフターコロナに向けて、物理的な接触を前提としたビジネスモデルに変革が起きており、また、慢性的な人材不足も相まってデジタル技術等の活用が社会全体に広がっています。当社が事業を展開する職業紹介・登録支援事業の役割も、取引先への特定技能人材の入国から雇用後のサポートまで広範囲に拡大しており、社会や企業のデジタル技術等の活用の方向性を見極めたうえで、柔軟な事業展開が求められています。

### **b.経営ビジョンやビジネスモデル**

上記の社会動向を踏まえ、当社の経営においても、積極的にデジタル技術等の活用を図り、新たなビジネスモデルの構築、既存事業における、より付加価値の高いサービスの提供をおこなう必要があります。当社が提供している職業紹介・登録支援事業においても、取引先と特定技能人材双方の状況を正確に把握し、よりリアルタイムに高度なサポートを提供することで、競合優位性を高め、新規顧客の開拓、事業拡大を目指します。

## **B.経営ビジョンやビジネスモデルの実現のための戦略**

より付加価値の高いサービスの実現、および生産性の向上を目的に、社内DXの推進と、取引先と特定技能人材のサポートにかかわるすべての工程を一元管理するシステムの開発・導入を進めます。導入にあたり、当社の既存の業務フローの課題を解決することで、取引先の事業拡大や生産性向上につながる機能を実現します。

## **C.戦略を推進するための実施体制**

上記の戦略を効率的に実施するため、代表取締役の指揮のもと、社長室と経営管理部を中心に外部のソリューションパートナーと協業のうえサービスの開発を推進します。